

4人に称号を付与

明海大 歯科総合医の育成図る

明海大学は、2016年度歯科総合医育成コース資格称号授与式を3日、東京都新宿区の明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センターで開き、歯学部部長で歯科総合医評価機構長の中島裕氏から4人の歯科医師に「Excellent Clinician Course」の称号が手渡された。

生涯研修を通して、あらゆる患者ニーズに対応できる「歯科総合医」の育成を目指すとして同大が設けた認定医制度で、「Excellent Clinician Course」は、クリニカルベーシックコースとクリニカルステップアップコースを修了し、一定の知識・技術を有し、適切な診断と治療



授与式では臨床の傍ら生涯研修コースを受講し、認定試験をパスした4人の努力が称えられた

を行えるとともに人格的に優れた歯科医師に与えられる。今回の資格獲得者は、關勇樹氏、佐野潤氏、玉置佳嵩

氏、笠木星原氏。同称号獲得者は計7人となった。授与式で4氏は「基礎に

帰りながら臨床に携わっていきたく、「通過点だと思っただけでも頑張りたいたい」、「将来的には母の医院を継いで、地域に還元していきたい」、「大学卒業後、勤務して初めて抜髄などを経験する状態で、自信が持てない日々があったが、歯科全般を網羅したコースを受講して自信が持てた」など生涯研修の意義や今後の抱負について語った。

同認定医制度では、「Excellent Clinician Course」の次のステップとして、インターミディエイトコース

を修了し、保存修復系治療・補綴治療の基本・口腔外科インプラント治療等の知識・能力を高めた口腔機能の向上に寄与できるとともに人格的に優れた歯科医師に与えられる「Distinguished Clinician」アドバンスコースを修了し、歯周治療・インプラント治療・補綴治療等の知識・能力を高め、口腔機能や全身的な評価ができ、豊富な臨床経験を有するとともに人格的に優れた歯科医師に与えられる「Master Clinician」が設けられている。